

故西健一さん自筆の遺言。遺言執行の準備

今年4月、病氣療養中のところ逝去した東町1、故小西健二さん(当時69歳)が、自宅と家具・調度品など同地の動産、不動産を町に寄贈しました。

6月25日、兄の正隆さん(71) 川崎市在住から遺族4人が役場を訪れ、松岡市郎町長に故人の財産目録を手渡しました。



に使用してほしい、と言っていました。などと思いを披露しました。小西宅は、町文化ギャラリーのすぐ裏に位置しています。松岡市郎町長は「ゲストハウス、コンサート会場として使いたい」と感謝しました。

同時に多額の現金寄贈も受けました。こちらは、故人の遺志で奨学金資金として活用する予定。近く奨学金条例(仮称)などを検討し、運用方法などを具体化する予定です。

住宅(2002(平成14)年建築) 11木造2階建て延べ約120平方メートル、土地約230平方メートル、所蔵の高級グラインドピアノ(オーストリア・ペーゼンドルフ・社製)、チェンバロ、管球式高級オーディオ装置(アンプ、レコードプレーヤー、スピーカーなど)。生前から町への財産贈与を決めていたそうです。

小西さんは東川町出身。町に対する思い入れが強かったそうです。

退職後、当地に自宅を建てて「小西音楽堂」と名づけ、知人を招いて時折コンサートなどを開いていたといいます。

正隆さんは「弟は、生前から家とピアノを町に寄贈したい、お金は奨学金

初夏のわらわが町民体育祭

7月5日、町民運動公園で第31回東川町民体育祭が開かれました。



町内7老人クラブチームが今年も勢ぞろい、一般チームは農協チームが初出場して11チーム約400人が参加しました。

町長と議長の恒例人クラブ対抗のバークゴルフフリーで幕開け。チーム力を誇る「東川第三」チームが今年も元気。全町侯かつぎりーなど5競技を制しました。

総出で応援に熱が入ったのは、やはり最後の全町綱引き。今年は「ニューパワー北町3丁目」チームが優勝を奪還し、初出場のJAチームも若さと体力で4位入賞を果たしました。

場外フィールドは、競技を横目にそれぞれ焼肉焼き鳥コーナーが早くからおおいにおいをあた

盲目の音楽家、時田直也氏のピアノの演奏

6月25日夜、盲目の音楽家、時田直也氏(神戸市在住)の生き生きコンサート「歌声に希望をのせて」が農村環境改善センターでありました。

本町の公演は2度目。会場には、前回の舞台ですっかりファンになった町民、旭川市内から駆けつけた聴衆が会場いっぱい響き渡るバリトンの歌声に聞き入りました。

ステージは、故坂本九さんの歌でおなじみの曲「見上げてごらん夜の星を」(永六輔作詩、いずみたく作曲)で幕を開け、幼い日の思い出や音楽との出会い、希望を持って学び続けてきた思い出の日々などの語りや時折織り交ぜながら、良く知られている歌謡曲や唱歌など13曲を披露しました。来場した方たちは、よく響き渡る歌声から希望



と勇気をいっぱいにもらったようでした。

旭岳「スプリコロカムイノミ」の儀式盛大

民族衣装に身を包んだアイヌの皆さん約40人が古式にのっとりアイヌ語で山の神に祈りを捧げ、女性たちがムツクリの調べに合わせて神に捧げる舞いを献上、観光客の盛んなカメラフラッシュを浴びていました。

今年山開きからこの日まで1週間野営場広場を会場にして、NPO法人(特定非営利活動法人)ねおすの活動員や旭岳温泉街の旅館経営者の方たちが、お話会、まき割り講習会、手作りのくん製作りなどを開き、観光客の皆さんにアウトドアライフの技や旭岳の歴史などを披露し好評でした。



6月27日、旭岳温泉青少年野営場で旭川・近文アイヌの皆さんが山開きの儀式「スプリコロカムイノミ」を行いました。

アイヌ語で「スプリ・コロ・カムイ・ノ・ミ」とは「山(を)持つ神(に対して) 拝む」という意味。迎え火に大かがり火をたき、山の神に今季の山の無事故を祈りました。

昨年までは山開きの日の夜、儀式を行っていましたが、今年からは単独での開催になりました。午後7時半、大かがり火に火が入ると、宿泊中の観光客の皆さんが次々と会場に集まりました。

嘉田町議会が来町

7月8日、熊本県嘉田町議会の経済厚生常任委員会(津出悦男委員長)の一行4人が本町を訪れました。

嘉田町(荒木泰臣町長)は、本町と福島県川内村(遠藤雄幸村長)とともに、今年11月、東京で第1回大会を開催予定の「安全・安心でおいしい地下水サミット」開催の呼びかけ3自治体の一角です。

熊本平野の水田地帯で、3本の河川に囲まれ町内各所に湧水群があります。湧水群に浮かぶ浮島の光景が代表的で、国内大手飲料水メーカーの生産工場を積極誘致するなど、豊富な水資源を産業活性化に活用しています。



4議員は、地下水を活用した町づくりを進めている自治体同士として東川の現状を視察し「水道のない町づくりに積極的な様子を町長にしっかりと報告したい」などと話していました。

消防団女性部が結成初のお披露目、消防総合訓練大会

6月28日、大雪消防組合東川消防団(金盛勇松団長)が今年の消防総合訓練大会を開催しました。

町内5分団から81人が東川小グラウンド会場に勢ぞろいしました。松岡市郎町長の閲団後、それぞれ分団ごとに隊列行進、小型ポンプ応用操法・放水訓練を展示披露。見事な連携訓練の成果を見せました。

